

No. 196
2020. 1

ねば
広報

私たちの村

人口と世帯 令和元年12月31日現在

総人口	897人
男	436人
女	461人
世帯数	415世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村2131-1
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



今年も門杉の制作を
行いました

1月号の主な内容

- 村長年頭あいさつ 2ページ
- 議長年頭あいさつ 他 3ページ
- 12月議会定例会 4・5ページ
- 宝くじ助成金 他 6ページ
- 選挙委員改選 他 7ページ
- SDGsで根羽村のこれからを考える会 他 ... 8ページ

年頭ごあいさつ



根羽村長

大久保 憲一

新年あけましておめでとう
ございます。令和2年の新春を
迎え、村民の皆様のご健勝を
心からお慶び申し上げます。
また日頃から温かいご支援と
ご協力によって、元気で安心
して住み続けられる村づくり
を進めることができますこと
に、改めて感謝と御礼を申し
上げます。本年も、村民の皆さ
んが安心して安全に暮らせる
根羽村を、皆さんと一緒になっ
て作ってまいれる所存でありま
すのでよろしくお願い致しま
す。

さて、昨年も全国で自然災害
が多発した1年でありました。
特に台風19号は、雨量・風速と
もに観測史上最大の数値を記
録し、県内でも千曲川流域を中
心に甚大な被害が発生しまし
た。お亡くなりになられた方々
のご冥福と、被災された皆さ
んへお見舞いを申し上げます

ともに、被災地の1日も早い
復旧復興を願うところであり
ます。当村では自然災害等の発
生もなく、比較的平穏な1年で
ありましたが、こうした自然
災害は「いつ」、「どこで」、
「どのような形で」発生するか
わかりません。こうした災害
に備えて、あらゆる防災対策
を進めてまいりたいと考えて
います。

さて、新しく役場庁舎が移転
して1年余りが過ぎました。
この間、村外からも多くの方
に訪れて頂き「既存建物の木
質化のモデル」として木の持
つ優しさや心地良さ、素晴ら
しさを体感頂けたと思います。
また、玄関ロビーには中学3
年生の皆さんが、自分達でデ
ザインを勉強して提案してく
れたテーブルや椅子が並んで
います。新しい庁舎から様々
な情報が発信できることを嬉

しく思うところであります。

さて、ここが昨年1年間の出
来事を振り返って見たいと思
います。村では「観光以上・定
住未満」の関係を持つ「関係人
口」を増やす取り組みを進め
ています。多くの皆さんに感
心を持ってもらい都市部の皆
さんの目線で村の魅力を発見
してもらった「モニタツアー、
木育体験、山地酪農体験」や

「子育てママグループ」による
生活体験」等を行い、それぞれ
高い評価を頂きました。村内
での就労や生活を体験するた
めの「トライアルハウス」も完
成し、今春からの本格運営を
目指した取り組みが進められ
ています。また、村民の皆さん
の健康増進のために、新たに
妊婦さんへの歯科検診の実施、
福祉医療費の窓口無料化、現
役世代の皆さんへのインフル
エンザ予防接種補助などの充
実を図りました。保育所では
村内の豊かな自然や資源を使っ
て屋外保育活動を行う「信州や
まほいく」の認定を受け、より
充実した保育に取り組んでい
ます。昨年から準備を進めて
きました「東京オリリンピック」
の選手村ビレッジプラザ建築
への根羽スギの搬入も完了し、
現在工事が進められています。
また、中学生の皆さんが一緒

になって企画した「令和とレ
トロ」をテーマとした盆踊り
の開催、内閣府が主催した「S
DGsまちづくりアイデアコ
ンテスト」で優秀賞を受賞す
るなどしました。昨年1年間も
多くの皆さんの活躍と協力に
よって、着実な村づくりがで
きた1年間でありました。

さて、村では今年4月に「義
務教育学校」を開校します。義
務教育学校は小学校、中学校
9年間の義務教育を一貫して
行う「小中一貫校」とするもの
で、新しい校名は「根羽村立義
務教育学校根羽学園」となり
ます。学習の指導形態は1年
生から6年生が「学級担任
制」、5・6年生は一部の教科
で「教科担任制」を導入しま
す。7年生から9年生は現在と
同様の「教科担任制」となりま
す。学校の基本となる教育理
念・学校目標については「根羽
村に誇りと自信を持ち、生き
る力を身に着けて、自立でき
る子どもを目指して取り組む」
方針が示されています。校歌
については現在の小学校校歌
を第1校歌、中学校校歌を第
2校歌として運用して行くこ
ととなります。校舎について
は現在の小学校棟に職員室、1
年生から9年生までのホーム
ルームを、旧中学校棟は特別教

室に改装を進めています。4
月の開校までわずかなとなつて
まいりましたが、しっかりと
準備を行い開校の日を迎えた
と考えています。

さて、当地域を取り巻く交
通環境は大きく変化していま
す。三遠南信自動車道の整備
も着々と進んでおり、7年後
にはリニア中央新幹線が開通
します。こうした大きな時代
の流れの中で、村民の皆さん
が「誇りと自信」を持つてこの
村に住み続けられるよう地域
資源を活用した「雇用・経済・
サービス」の3つの地域内循
環と、都市部や矢作川流域連
携による村づくりを進めてま
いります。本年も皆さんの声
をしっかりと聞きし、村民
の皆さんが今まで以上に「根
羽村に住んで良かった」、「こ
れからも住み続けたい」と思
える「元気で安心して住める
村」となるよう精一杯努力し
てまいりたいと思いますので、
今まで以上のご支援ご協力を
お願いいたします。本年が根羽村
にとりまして、そして村民の
皆さんにとりまして幸多き年
となることをお祈り申し上げます。
新年のご挨拶と致します。本
年もどうぞよろしくお願い致
します。



根羽村議会議長

西尾竹司

新年あけましておめでとうございます。令和2年の輝かしい新春を迎え心からお慶び申し上げます。本年も住みよい、住んで良かったと思う村づくり村民の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年観測史上最強クラスの勢力で上陸した台風15号により、千葉県を中心に甚大な被害をもたらしました。また台風19号は千曲川を決壊し、長野市を中心に死者5人、住宅被害総数は8551世帯と甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧、復興を祈念するところです。

またラグビーのワールドカップが日本で開催され、日本代表がベスト8に入り日本全土が大変盛り上がりしました。「ワンチーム」という言葉が新語・流行語大賞に輝きました。長野県では災害支援活動から生まれた「ワンナガノ」を合言葉に支援活動を実施してい

ます。私たちもできる範囲の活動に参加していきたいと思っています。

さて今年最も注目するのは2020東京オリンピック、パラリンピック競技大会です。この競技大会の選手村ビレッジでは、全国の木材で1つの建物を作るオールジャパンで大会参加を実現しています。根羽村からも「根羽杉」の提供をすることができ、全国に「根羽杉」を大いに宣伝することができました。また大会終了後においてはこの杉を持ち帰り、レガシーとして活用していきます。根羽村に新たな魅力発信する場所が増えることを期待しています。

教育においても大きく変化しようとしています。根羽小中学校が1つとなり、根羽村立義務教育学校根羽学園と小中一貫校となります。全国でも少子化が進んでおり深刻な問題となっています。これから子供たちが今まで以上に学力が向上すると共に魅力溢れる学校になることを祈念する

ところです。

根羽中学校においても大変すばらしい出来事がありました。中学2年生がSDGsまちづくりアイデアコンテストに応募し全国186点の応募の中、見事優秀賞（最優秀賞1点、優秀賞4点）を受賞しました。根羽中学校のプランは森林面積94%の根羽村に2030年までに「森のテーマパーク」をつくり活性化させ

るという提案でした。報告会ではみんなで地域をつくるという持続可能な地域づくりの企画であり、夢いっぱい詰まったとてもすばらしい内容でした。中学2年生の皆さん受賞おめでとうございます。私たち議員も子供たちが元気で活発的な活動ができるよう今後もしっかりと応援していきたいと思っています。

終わりに今年は「子」年で

す。十二支の最初の年です。気分を新たにし村の若者就労問題、人口維持等の事業をより一層活性化、推進を図って行きたいと思っています。

令和2年が根羽村と村民の皆様にとりまして平穏で幸多い年でありますようお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

令和元年 根羽村十(重)大ニュース

順位	行事・内容等
1	「義務教育学校根羽学園」開校決定 【コメント】 昨年から新しい時代に対応した学校づくりを検討した結果、令和2年度から小学校と中学校を統合し、新たに「根羽村立義務教育学校根羽学園」として開校することが決定しました。開校に向けて職員室の統合や、特別教室の改装等が行われ、併せて、トイレの洋式化やエアコン設置等、快適な教育環境整備が進められました。
2	日本の木材活用リレー～みんなでつくる選手村ビレッジプラザ～木材提供完了 【コメント】 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて建設される選手村ビレッジプラザに、根羽村、川上村、天龍村から提供する木材の出発式が開催されました。提供する木材は根羽村はスギ約18m、川上村はカラマツ約7m、天龍村はヒノキ約7mで、根羽村分は5回に分けて現地に納入されました。
3	ポスター掲示・選挙公報発行が行われ、村長・村議選挙執行 【コメント】 村の選挙としては初めてポスター掲示板設置、選挙公報が発行されることとなり、4月21日に村長・村議議員選挙が執行されました。村長選挙には2人が立候補し大久保村長が3期目の当選を果たしました。村議議員は定員8名の立候補により無投票となりました。
4	住民福祉サービスの充実 【コメント】 4月から新たに妊婦婦科健診の実施、5月には子育て支援の充実のため18歳までの医療費窓口無料化の実施、11月からはインフルエンザ予防接種補助を現役世代にまで拡充するなど、あらゆる世代で福祉サービスの充実が図られました。
5	村の応援団との協働による村づくり 【コメント】 環境省「地域循環共生圏プラットフォーム作り事業」、総務省「関係人口創出事業」の採択により、村の将来を考え、矢作川流域全体で持続性と経済性をもった事業の検討や、企業のCSR活動の一環としての植樹活動の実施等、村の応援団を巻き込んで、これまでに以上に協働の村づくりへの取組みが進められています。
6	「SDGsまちづくりアイデアコンテスト」優秀賞受賞 【コメント】 内閣府が主催した持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにした街づくりアイデアコンテストで、根羽中2年生が、2030年の根羽村について考え、自分達が帰ってきたいと思う根羽村にするため、森のテーマパークをつくり村を活性化するという提案を行いました。その結果、全国の中学校、森からの応募186件の中から5件の入賞(優秀賞)に選ばれました。
7	「令和とレトロ」リニューアルされた盆踊り大会開催 【コメント】 盆踊り大会が「令和とレトロ」をテーマに、会場の見直しや手作り竹灯籠の灯りの回廊等大幅にリニューアルされ盛大に開催されました。中学生がチラシやCM製作等の企画運営に参加し、当日はプロのヘアメイクや着付け体験、DJ盆踊り等新しい企画で多世代が楽しめる盆踊り大会になりました。
8	安城市からの親子留学受け入れ 【コメント】 安城市の児童、生徒の皆さんを対象にした親子留学制度がスタートし、中学2年生1名、中学3年生1名が母親と共に根羽村へ移住し、新たな学校生活をスタートさせました。
9	世帯用住宅2棟が完成 【コメント】 田島地区に根羽産材をふんだんに使用した木造2階建ての村営住宅2棟が完成しました。この住宅には安城市からの親子留学の2組が入居しました。
10	豚コレラに感染したイノシシ捕獲 【コメント】 隣接地での豚コレラ発生により5月に調査対象区域に指定され、その後、村内で捕獲された野生イノシシを検査した結果、陽性反応があり、南信州地域で初めての豚コレラに感染したイノシシが捕獲されました。

議会だより

12月定例会

一般会計補正予算等

二十一議案について審議

12月9日・12日の2日間にわたり、12月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

一般質問

◆下井敦志議員

質問 村の防災対策、防災計画について

① 現行の防災計画は策定より年月を重ね、村の現状にそぐわないものも出てきていると思われるが、村はどう認識しているか

② 9月の防災訓練での聞き取りにおいて明確になった課題と対策、各地区の孤立しそうな家庭数の把握と、孤立した際の対応について

③ 現在の村の備蓄物資の現状、及び更新計画について

④ 複数の避難所が開設になった場合の開設手順、物資の展開方法の計画、訓練は行われているのか。

また、災害ボランティアの受け入れ態勢はどのようにお考えか

⑤ 重要なインフラがダウンしたときの対応策、各公民館への自家発電設備の設置などはどうか

⑥ 被災支援について、インターネット通販サイトの「ほしいものリス

ト」を有事の際は利用する用意はあるか

⑦ 災害対応目的で各地区公民館など主要施設にフリーWi-Fiの設置は必要と考えるか、また、光回線、5G等の防災利用は視野に入れているか

回答

① 現行の防災計画は平成12年策定で、村内施設の状態、消防団員、役場職員の現状、想定される災害も大きく変化しており、現状との相違があり、見直しが急務である。長野県の防災計画の構成に合わせ、12年の災害の教訓をさまざまな災害の発生を想定し、具体的な計画にしていく。来年度の早い時期には新しい防災計画を策定したい。

② 住民支えあいマップを作る中で要支援が必要な方、普段から見守りが必要な方が多く、支援する側の方が少ない地区、あるいは一人の方が何人も支援しなくてはならない地区が多くあることが明確となった。村内どの地区でも孤

立する可能性が非常に高いと理解している。孤立解消は村単独での対応は難しい場合が多い。さまざまなケースを想定し、安全かつ迅速に対応していける体制を整備していく。

③ 災害時の備蓄物資については仮に局地的な災害が発生した場合には物資の移動の負担を考慮する中で現在は、村内2箇所の防災倉庫に保管し有事の際、現場に届ける体制をとっている。備蓄品については、水は1人が1日2リットル、食料3食分を3日間確保できる量の整備を計画的に行っている。令和3年にはこれらの備蓄品の整備が完了予定で、以後は保存期間ごとに更新していく。これ以外にも毛布が400枚、マットシートが30枚備蓄しており、これ以外にも優先順位をつけ備蓄を進めていく。また、災害時の応援協定などにより、災害時に必要な物資が保管できるよう努力している。

④ 避難所の開設については村の避難訓練で行っており今後もより実災を想定し有事の際に的確な行動が取れるよう訓練していく。また、避難場所の指定については村職員、指定避難所の管理者と協同し開設、あるいは長期にわたる場合は運営主体を避難地の方々と組織して頂くような段取りとなるが、いずれにしても、速やかな

対応ができるよう準備していく。災害ボランティアの受け入れについては、社会福祉協議会等のボランティア団体、ボランティアコーディネーターが主導して行うことが想定されるが村としてはこうした団体と連携して被災者の皆さんのニーズ、活動全体の把握、情報の共有を行っていく。

⑤ 現在防災計画に記載の内容は適切に見直しを行っていくが、復旧に当たっては、それぞれ関係の企業、団体の協力が必要。情報交換を行い有事の際にはお互いの顔の見える対応をしていく。電力については中部電力と協定を結んでおり、相互連携、協力を図ることとしている。各地区公民館は第一次避難所としている地区も多く自助・共助を進める上で重要であると認識している。地区によっては発電機を整備しているところもある。今年の自主防災リーダー会議では、日赤の助成事業を使って発電機の整備ができると紹介させてもらったところ、申請いただいた地区もある。各地区で必要な物品が揃うと思われるのでいつでも村に相談してほしい。村としてもしっかりと支援していく。

⑥ 「ほしいものリスト」の仕組みは被災者が真に必要なものを、支援者としても、もっとも有効な支援ができるという点では非常にすばらしいシステムと思っている。

具体的などころはこれから調査、研究していく。さまざまな提供方法があるので、その都度情報収集し、活用できればと考える。

⑦ スマートフォンなどの利用は有効であり、なくてはならないものとする。当面指定避難所となるような施設にはフリーWi-Fiの環境整備は必要であると考え。現在村内ではNTT東日本により光化が進められている。設置費用などの問題も含めて整備の検討を進めていく。

◆片桐康孝議員

質問

村内のドライバーの高齢化に伴い今後想定される交通安全対策について

① 当村でのブレーキとアクセルの踏み間違い防止器又はドライブレコーダーの補助の取り組みはあるか

② 飲酒運転撲滅に取り組む必要性について村長の考えはどうか

③ 公共施設への防犯カメラの設置状況、あるいは取り組み状況はどうか

回答

① 必要性は強く感じている。こうした装置の設置に対して助成を行う自治体があるのも実情。当村においては生活の移動手段として自動車は欠かせないものであると理解している。こうした中運転者の高齢化が進んでいるのも事実であり重大事故発生防止のため

の方策が必要であると認識しており、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる急発進抑制装置の補助も重要な手段の一つと考える。村としても何らかの対応を検討していく。ドライブレコーダーに関しては事故などの後の確認等に利用されており、現段階では交通事故防止に繋がるものではないと考えており当面個々で対応して頂く必要があると考える。

②飲酒運転については法律で定められており個人個人が法律を遵守するべきと考えている。村としても交通安全協会や企業や団体等と連携する中でしっかりと飲酒運転の撲滅の啓発や酒類の提供者への協力呼びかけ等を引き続き実施していく。

③現状では防犯カメラの設置というのは、各家庭、企業、会社が防犯のために個々で設置するケースがほとんどと考える。仮に村が設置するとした場合、人家が散在する当村にあつては、設置場所の選定、設置方法、費用等、色々な課題があると考えられる。様々な状況を踏まえ関係機関とも連携し情報を共有しながら設置等についても検討していきたい。

◆片桐清博議員

質問 根羽村育英基金貸付条例について伺いたい。入学資金と、修学資金を一括して入学時に借りられるようにできないか。

回答

育英資金制度は昭和39年から実施しており平成30年までに319名が利用している。平成30年には高校・大学入学時に多額の費用がかかることから入学一時金制度を新たに創設し、一人につき50万円を上限とし貸付できるようにした。修学資金は平成7年から改定がなく時代の変化を考える中で改定の必要を感じている。育英資金の入学に関する一時金と育英資金とは同時支給ができるため早めの申請をお願いするところですが、年をあけて4月の支給となることについてはもう少し工夫が必要であると考えている。そういった面も含めて修学資金の改定、入学資金の改定、支給時期について、毎年3月頃育英資金貸し付け審議会を開催しているので、そこですっきりと意見を伺う中で検討し改正できるものは改正していく。

◆石原理好議員

質問 農業振興について伺いたい
①お米の地産地消の取り組み、水田農業者の意識向上の取り組みについて

回答

①試算ではあるが今年度村内で108トンの米が採れているのではないかと推計される。米の地元消費の状況は学校給食では百パーセント根羽の米を使わせて頂いており840〜900キロの米を学校で消費している。ねばねの里なごみ、ネバーランドでもほぼ地元米を消費していると把握している。村

内の飲食店でもどのくらいか把握はしていないが一部地元米を利用してもらっている。加工米としては、農事組合法人杉っ子さんが根羽の米を利用しており、少量ではあるがネバーランドのふるさと市場では根羽の米を販売されている。今後は村内の飲食店での利用、それぞれの斡旋などによる直接販売等による販路拡大も必要になってくると考える。様々な取り組みを関係機関と連携して取り組んでいきたい。

条例

- ◆根羽村議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◆根羽村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆人事院勧告に基づいて、期末手当率等の改定がされました。
- ◆根羽村第一号会計年度任用職員の報酬等に関する条例
- ◆根羽村第二号会計年度任用職員の報酬等に関する条例
- ◆根羽村人事行政の運営等の公表に関する条例の一部を改正する条例
- ◆根羽村職員の分限に関する条例の一部を改正する条例
- ◆根羽村職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

◆職員の子供休業等に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村立公民館設置条例の一部を改正する条例

◆公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

◆会計年度任用職員制度に係る条例の制定、改正がされました。

◆根羽村印鑑条例の一部を改正する条例

旧氏の住民票への記載がされることとなり改正がされました。

補正予算

- ◆令和元年度根羽村一般会計補正予算(第四号)
村営住宅維持補修工事費等1億44万2千円を追加し、総額19億252万4千円余となりました。
- ◆令和元年度根羽村国民健康保険特別会計補正予算(第二号)
国保システム改修事業委託費等216万7千2百円を追加し、総額992万9千9百円余となりました。
- ◆令和元年度根羽村簡易水道特別会計補正予算(第二号)
維持管理費等387万円を追加し、総額7296万千円余となりました。

ました。

◆令和元年度根羽村下水道特別会計補正予算(第二号)

高橋地区管理費180万4千円を追加し、総額666万4千円となりました。

◆令和元年度根羽村介護保険特別会計補正予算(第二号)

施設介護サービス給付費等2709万5千円を追加し総額2億4124万5千円余となりました。

◆令和元年度根羽村村営バス特別会計補正予算(第三号)

修繕費60万円を追加し、総額1718万4千円余となりました。

◆令和元年度根羽村後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)

保険基盤安定負担金の確定により4万7千円を追加し、総額1814万7千円余となりました。

選挙

◆選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
12月をもって任期を迎える選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、委員4名、補充員4名が選出されました。

専決処分報告

◆損害賠償額の専決処分の承認について
事故による損害賠償額の専決処分について報告がされました。

宝くじの助成金で整備しました

防寒衣

公益財団法人長野県市町村振興協会から宝くじ助成により根羽村消防団の防寒衣を60着整備しました。



消防団出初式

令和2年1月5日、根羽村消防団出初式が厳粛に挙行されました。今回の市中パレードは万場瀬地区根羽給油所付近からしゃくなげまで行い、根羽小学校の少年少女消防クラブ員も消防団と同じ隊列に入り行進しました。

その後、しゃくなげで式典が行われ、南信州地域振興局長様、飯伊消防協会長様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、盛大に開催できました。最後に「火の用心三唱」を参加者全員で行い、今年1年の無火災の祈念とお互いの防火意識の高揚を図りました。

また長年にわたり根羽村消防団で消防活動に従事された西尾真吾分団長と石原弘章副分団長と山本徹班長が今年度をもって退団される予定です。



▲火の用心三唱

防犯診断結果

昨年12月19日から30日までの間、村内全域において住宅棟の戸締まり、車輛等の施錠の状況等の防犯診断を防犯指導員が実施しました。結果を見てもと少数ではありますが未だ施錠されていない車両が確認できます。下伊那管内でも空き巣や盗難、車上荒らしの被害が発生しています。日頃から防犯意識を高め、犯罪に巻き込まれないようにしましょう。

診断日：令和元年12月22日から30日

地区名	住宅診断			車 両 診 断							備考
	診断 総数	施錠 済み	未施 錠等	診断 総数	施錠 済み	ドアに 施錠 なし(A)	(A)のうち キー付	(A)のうち 貴重品あり	施錠済み だが貴重 品有		
北洞計	41	41	0	33	33	0	0	0	0		
中央計	42	40	2	52	44	7	0	0	1		
東洞計	35	35	0	35	34	1	0	0	0		
南洞計	31	31	0	31	31	0	0	0	0		
西洞計	45	45	0	4	0	4	0	0	0		
計	194	192	2	155	142	12	0	0	1	0	

※この診断は国県道や村道の住宅の密集しているところを中心に実施しました。

申告相談のご案内

令和元年分所得の確定申告は2月17日(月)から3月16日(月)まで(土日は休みです)となっています。今年も下表のとおり申告相談を行います。都合のつかない方は随時受付をしますので、お早めに申告をお願いします。

令和2年度分村民税申告書には、住所、氏名、生年月日、配偶者等、必要事項を記入してください。給与所得のみで年末調整済みの方、所得が全く無く村内にお住まいの方の扶養等になっている方は申告が不要です。

※個人で営業、請負事業等をしている方は必ず申告をして下さい。

その他ご不明点がありましたら、役場総務課までお問い合わせください。

申告(納税)相談日程

期 日	時 間	適 用
2月17日(月)	午前9時 ～午後5時	医療費控除、住宅控除、農業等収支計算のある方
2月18日(火)		
2月19日(水)		
2月20日(木)		中央地区
2月21日(金)		北洞地区
2月25日(火)		東洞地区
2月26日(水)		南洞地区
2月27日(木)		西洞地区
2月28日～3月16日(土日は除く)		該当日に申告出来ない方

根羽村選挙管理委員会 委員・補充員が選出さ れました

昨年12月24日の任期満了に伴い、新たに12月25日付で村選挙管理委員会委員四名と補充員4名が選出されました。任期は4年で、今後の各種選挙の公正な執行管理等にご尽力いただきます。

委員

石原 保幸氏(下町)
稲垣 節雄氏(新井)

片桐 俊男氏(坂町)
浅井 直子氏(日向)

補充員

松下 収一氏(黒地)
片桐 淳子氏(小戸名)

片桐 紳一郎氏(小川)
三宅 克久氏(田島)

退任委員

委員長

委員

高柳 紀一氏 四期
原 小夜子氏 三期

退任された委員様におかれましては長きにわたり選挙事務にご尽力いただいたことに感謝申し上げます。



【民生児童委員改選】

民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、12月1日付けで厚生労働大臣から次の方々が委嘱されました。任期は3年です。第1回の定例会におきまして、会長に新井の稲垣節雄さん、副会長に大畑の永田明美さんが選任されました。民生・児童委員の皆さんは村民の様々な相談に応じるとともに、援助活動にも努力されております。お困りの事などがありましたら、お気軽にご相談ください。相談された内容等の秘密は厳守されます。



東 洞

松下収一さん(黒地)
新任



主任児童委員

櫻井法子さん(上町)
新任

南洞

稲垣節雄さん(新井)
(会長) 再任

中央

天畑 坂町・上町・下町
永田明美さん(大畑)
(副会長) 再任

西洞

(万場瀬含む)
原あけみさん(平)
再任

北洞

片桐利江さん(中野)
再任

退任者

黒地 筒井良和さん
(2期2年4ヶ月)

上町

石原清志さん
(2期)

上町

鈴木ときゑさん
(3期)

なお、今回退任されました3名の方には長い間地域住民の福祉向上のため、日夜ご尽力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

第22回 福祉と健康の集い

日 時 令和2年3月1日(日)午前10時30分から 場 所 福祉センター しゃくなげ

根羽村民が健康管理に目を向けて、健康や福祉に関する日頃の疑問や不安をこの機会に解決して、健康的に毎日の生活を送っていただくために、「根羽村福祉と健康の集い」を開催しますので、皆さん是非お出かけください。

時 間	内 容
10:45 ～ 13:50	足助病院の 医師・看護師・検査技師 の方々による講演等 ○ロコモ予防教室～楽しく体を動かしましょう～ 講師：JA愛知厚生連 足助病院 リハビリテーション技術科 後藤亮吉 先生 足助病院 看護師さん検査技師さんによる ○健康チェック＆健康相談コーナー 健康に関する相談をお受けします ・拮抗体操、頭の体操 他 ・筋肉量測定 ・血圧、身長、体重測定
13:15～	式 典 根羽村社会福祉協議会功労者表彰等
14:00～ 15:15	講 演 会 (大杉大学冬期講座) 講師：島田 洋七 さん(タレント) テーマ：「がばいばあちゃんの笑顔で生きんしゃい!」
10:30 ～ 16:00	杉っ子 昼食等販売 ぼてとの会 傾聴ボランティア「和」 梅の会 五平餅、茸おこわ、豚汁、からすみ、大福餅、豆餅 ・物資販売他 ・バザー ・手づくりの「ねこ」などの販売

今年も「根羽村福祉と健康のつどい」を開催します。

大杉大学との共催で行われる講演会は、島田洋七さんをお迎えします!!! 毎年恒例の足助病院の方々による教室をはじめ、健康チェックや健康相談コーナーを設けていますので、健康やご自身の体の不調など日頃の疑問や不安を解消して、健康的な生活を送るために、ぜひ、この機会をご活用ください。

また、杉っ子、ぼてとの会、傾聴ボランティア「和」、梅の会の皆さんの出展もあります。

詳細が決定しだい、チラシを作成して回覧します。

ぜひ、しゃくなげまでお出かけください。

皆さまのお越しをお待ちしています。

SDGs 中学生表彰報告会並びに SDGsで根羽村のこれからを考える会

令和元年12月22日(日)午後2時からやまあいホールで行われました。当日はSDGsに精通し東京青年会議所のSDGs政策委員を務める八木輝義先生を講師に、誰ひとり取り残さない世界をつくるために、SDGsとターゲットについて「近江商人の三方良し」などを例に分かりやすく講義をしていただきました。その後参加者全員でSDGsカードゲーム「クロス」をしながら課題解決に向けたアクションアイデアを考えました。このカードゲームはひとつの課題解決をすると新たな問題が生じる「トレードオフカード」に対し、資源「リソースカード」を活用して解決を図るものです。全世界共通の課題に加え、根羽村の課題解決についてたくさんのアイデアが飛び交い、思いもよらない組み合わせで解決したりと、様々な角度からみんなで解決方法考える良い機会となりました。最後に中学2年生が国連のSDGsが掲げる17の目標を、地域に置き換え何ができるか考える「SDGsまちづくりコンテスト」で優秀賞を受賞し、その報告会を行いました。自分達は森に住んでいるのに森で遊んでいない実態を認識し、「NICEツアー～みんなで作ろう森の楽園」を企画し、2030年までに森のテーマパークを完成させる構想を発表されました。



今回の実施した内容は、今にとらわれない自由な発想で子どもから大人まで真剣に村の未来を考える良いきっかけとなりました。

手打ちそばでもてなす村化プロジェクトが始まりました

観光協会では、昨年12月から今年10月までに計7回にわたり、そば打ち講習会を開催しています。今年1月にネパールランドを会場に第2回目の講習会を開催しており、村民、関係者20名の会員が参加しました。当日は講師の指導のもと会員の皆さん一人ひとり根羽産のそば粉を使って、生地練りから切りまでを体験しました。打ったそばは、持ち帰って味わって頂きました。

今後も講習会を通じ村内の手打ちそば職人を増やし、そばの地産地消の促進と村外の方をそばでもてなす村を目指して活動していきます。

会員は随時募集しています。お問い合わせは、観光協会事務局まで。
(役場内49-2111)



令和2年1月20日、平の鈴木伸治さんから、平成10年に飯田市の丸山甲子夫氏が描かれた「月瀬の大杉」の絵画を村へ寄贈して頂きました。

村では、鈴木さんの「根羽の子供達に大杉を身近に感じ、よく知って欲しい。」との思いをお聞きし、今年の4月に開校する根羽学園に飾らせて頂きます。

「月瀬の大杉」
絵画寄贈